

6 本時 1組 (9/11)

(1) 本時の目標

書いた文を並べ替えて、つながりのある文章を書くことができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	◇評価規準 (評価方法)
導入	1 単元のねらいを確認し、本時のねらいをつかみ、めあてや学習方法を確認する。		
よみやすいぶんになるように、ならべかえて、かいてみよう。			
展開	2 短冊カードを並び替えて書く順序を考え、番号を付ける。 ・文と文のつながりを確かめながら並び替えるようにする。 ・付け足したい言葉があれば、短冊に書き加えていく。  3 並び替えた短冊を友達に見せる。(尊)(表) ・文と文のつながりがわかりやすくなっているのか、声に出して読んでみる。  4 文章を書く。(言)	・書く順序は、知らせたいことから書いたり、実物を見たことがない人がイメージしやすいようなこと(体の形等)から書いたりすることをおさえる。  ・読みやすい文になっているのか、意見を交流する。 ・ハンドサインを活用して、よさを認め合えるようにする。  ・誤字・脱字がないかを確認しながら書くように指導する。	◇文章を読み返し、語と語や文と文の続き方を確かめることができる。(短冊カード、観察)
まとめ	5 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。 ・本時で学習したことをワークシートに書き込む。(表)(言)	・本時の学習を振り返り、ワークシートに記入するように指示する。	

(3) 板書計画

文章の書き方例

ぶんをかくながらかこう。  
☆字のまちがいがいか、たしかめながらかこう。

・知らせたいことからかく  
・からだのようす  
・えさをたべるようす

など

たんぎくのならばかた  
☆見たことがない人がわかるように

めあて  
よみやすい文になるように、ならべかえて、かいてみよう。

しらせたいな、見せたいな